

令和4年度第16回 教育委員会会議 会議録

日 時：令和5年3月24日(金) 午後2時00分

場 所：長洲町役場3階 第1委員会室

教育委員：出席4人：坂本教育長職務代理者、上野委員、隈部委員、徳田委員
：欠席0人

教 育 長：戸越教育長

事 務 局：松林学校教育課長、松永教育審議員、福田指導主事

案 件：協議第 9号 令和5年度 教育委員会職員の異動について

協議第10号 「第2次長洲町子どもの読書活動推進計画(案)」
の策定について

報告第23号 「令和5年第1回(令和4年度3月)町議会定例会」
における一般質問の答弁内容について

報告第24号 生徒指導について(非公開)

開会(午後2時00分)

○学校教育課長より

- ・教育委員会議開会の宣言

○教育長より

- ・出席委員定数の報告並びに会議成立の報告
- ・議事日程の確認
- ・会議録署名委員の指名(徳田教育委員)

協議第 9号 令和5年度 教育委員会職員の異動について(非公開)

協議第10号 「第2次長洲町子どもの読書活動推進計画(案)」の策定について

○生涯学習課長説明

○教育委員

年間の活動計画の合意又は共有、これを加えて下さいますか。年度初めに何をするのかを合意して、最後に点検をします。そういう文言を追加してもらいたいと思います。

○生涯学習課長

ご提案ありがとうございます。文言等をどのようにするのか、こちらで検討して盛り込ませていただきます。

報告第23号 「令和5年第1回(令和4年度3月)町議会定例会」における一般質問 の答弁内容について

○学校教育課長説明

○教育委員

就学援助にギリギリ引っかけられない家庭がいっぱいある。もうちょっと基準を下げて対象となる家庭を増やしてほしい。そこを見直ししてほしい。

○学校教育課長

何のために給食費の無償化をするのか、生活困窮者への支援なのか、或いは定住促進のためなどなのかと考えた時、あくまでも生活困窮に対する支援ならば、就学援助制度の拡大をするという方法もあると考えています。

○教育委員

保護者から無償化の要望は一切出てませんからね。食べ物は親が出そうって、そういう思いがあって、何でも無料になっていく中で、子育てでこれだけは自分たちで払ったよねっていう、私たちはそれが欲しい。それを長洲町で誰も頼んでないのに、このコメントが出るおかげで、そうだそうだってなるのはおかしいし、なんか全部無償化してやったから良かったろうが、みたいなのはやめてほしいですね。議会で、書面出ると、親がさも言ってるかのように見えるけど、誰も言ってない。

○学校教育課長

この質問が出る理由の一つには、管内で長洲町が給食費の補助をしていないという状況もあるかと考えられます。

○教育委員

でもやっぱり、長洲町の思いを出してほしいですよ。予算は給食費の補助ではなく、教育の他のところに使います、と。それを大きく言って、ブレないところを見せてほしいですね。

○教育委員

タブレットをひとり1台持っていますが、高校行ったあとが不便だという声を聞きます。高校に行ったらアナログになり、電子辞書を買わされて、それで調べてとなっている。義務教育で培ったものが、進学した時に環境がなくなってしまう。タブレットを6万円で購入させていて、卒業したらそのまま自分の物として持っていく、という学校もあるらしいんですけど。社会に出ていくためのステップが寸断されてしまっていて、あまり進んでいる気がしない。

○教育審議員

高校がこれから増やしていくという情報もあり、GIGAスクール構想なので、県立高校あたりも文科省主導で、今後進んでいくと思われれます。

○教育委員

子ども家庭庁を作るなら、公立校も頑張ってもらわないとですね。18才までを子ど

もとするんならですね。

○教育委員

I C T推進委員会は、長洲町では1回しか行われていない。学校ごとでは進まないところもあるので、町として目標設定をすべきでは。ここまで行くべきというガイドラインを作ってあげたい。それから、台湾とつないで交流しましたが、非常に刺激があっといういいことなので、やったことを皆に伝えてあげたいな、と。そのノウハウを共有するという行動を起こすべき。それから、プログラミングなど興味あるものはものすごく伸びるんですよ。ですからもう一度力を入れて、I C T推進委員会を定期的に開催してもらいたい。

○学校教育課長

I C T推進委員会が1回しか開催できなかったのは承知しております。ハード面の配備はほぼできましたが、ソフト面や先生たちの資質向上、児童生徒など、取扱いについて統一的なものがないのは確かです。I C T推進計画というのは立てましたが、あれは目標値であって、実態の把握はできていません。

○教育委員

それともうひとつ、私も学校を中心として地域を作っていくのが非常に重要だと言ってきているんですけど、体育館の中の談話室を公共的に使えるんだということをもっと周知してほしい。学校は教育的なものにしか使えないという認識がある。公共的に使っているんだと皆に知らせてもらってほしいと思います。

○学校教育課長

教育長も答弁されましたが、顔の見える安全安心なまちづくりという点で、地域の方にとって学校は、用事がないといかない敷居の高い場所、という住民の認識を感じてらっしゃいます。

○教育長

どうしても、昔から学校は敷居が高いイメージを地域の方が持ってられると思うんですね。だから学校側から開いているんだよというアプローチも必要かなと思います。例えば、月一回は地域の人を学校に呼ぶ。老人会などにご案内したりしながら、その日に学年対抗リレーのようなものを組んで、見に来て、盛り上がり帰る、というようなところですね。また例えば、書道クラブで書いた作品を、校内の掲示板に自由に飾って下さいという、そういった地域の中に学校があるということではなく、学校の中に地域があるというような発想の取り組みですね。敷居が高いという世間的な概念がありますので、来やすいような仕掛けをすることで、求めていってる五者連携というのが作り出せていけるのかな、と。教育委員が仰られたことは、私も内容をしっかりと受け止めて、学校づくりをしていかなければならないと、改めて思ったところでした。

○学校教育課長

実は夏休みも学校の図書室は開放しているんです。コロナがあったので最近はなかなか

か学校に来られていなかったんですけど、おじいちゃんおばあちゃんも来られていました。

○教育委員

子ども以外の一般住民の方も図書室にいらしたと。

○学校教育課長

はい。ただ、子ども達の関係者にしか周知していなかったと思います。

○教育長

新しくひとつの中学校になりましたら、コミュニティルームを利用しやすく設置するなど、それがモデルとして小学校にも広がっていくような、そのような工夫をしていきたいと思います。

報告第24号 生徒指導について（非公開）

閉会（午後3時45分）